

平成30年度 第6回 文部科学大臣杯争奪

全日本学生バドミントン ミックスダブルス選手権大会

期日：2018年(平成30年)8月10日(金)～11日(土)

会場：日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館



All Japan student badminton mixed doubles championship



主催：公益財団法人 日本バドミントン協会、全日本学生バドミントン連盟
主管：関東学生バドミントン連盟、神奈川県バドミントン協会
後援：スポーツ庁、ベースボール・マガジン社



大	会	次	第		02								
ご	あ	い	さ	つ	 03								
大	会	役	員		09								
競	技	役	員		11								
大	会	要	項		12								
競	技	・	審	判	上	の	注	意		14			
日	本	バ	ド	ミ	ン	ト	ン	協	会	通	達		17
大	会	日	程		18								
タ	イ	ム	テ	ー	ブ	ル		19					
組	合	せ		20									
選	手	名	簿		22								
大	会	記	録		23								
過	去	の	成	績		25							
歴	代	委	員	長		26							
主	管	学	連	紹	介		27						
会	場	案	内	図		28							

大 会 次 第

I. 代表者会議 8月10日(金) 9:30～ 日本体育大学健志台キャンパス 米本記念体育館内視聴覚室

- | | | | |
|--------------|--------|-----------------------|-------|
| 1. あ い さ つ | 大会委員長 | 全日本学生バドミントン連盟委員長 | 荒井 元輝 |
| 2. 競技・審判上の注意 | 競技役員長 | (公財)日本バドミントン協会公認レフェリー | 中野 正一 |
| 3. 棄権、訂正 | 大会副委員長 | 関東学生バドミントン連盟委員長 | 金子 大地 |
| 4. 諸 注 意 | | 関東学生バドミントン連盟常任委員 | 山崎 慎也 |
- (1) 試合会場について
- (2) その他

II. 開 会 式 8月10日(金) 10:00～ 日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館アリーナ

- | | | | |
|-----------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. 開 式 通 告 ☆司 会 | 関東学生バドミントン連盟副委員長 | 金子 瑠奈 | |
| 2. 開 会 宣 言 | 大会委員長 | 全日本学生バドミントン連盟委員長 | 荒井 元輝 |
| 3. 開 会 の 挨 拶 | 大会会長 | 全日本学生バドミントン連盟会長 | 宮崎 重勝 |
| 4. 歓 迎 の 挨 拶 | 大会副会長 | 関東学生バドミントン連盟会長 | 遠藤 隆 |
| 5. 歓 迎 の 挨 拶 | 大会副会長 | 神奈川県バドミントン協会会長 | 羽隅 弘治 |
| 6. 選 手 宣 誓 | | 日 本 体 育 大 学 | 玉手 勝輝
財津 穂 |
| 7. 閉 式 通 告 ☆司 会 | 関東学生バドミントン連盟副委員長 | 金子 瑠奈 | |

III. 閉 会 式 8月11日(土) 決勝戦終了後 日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館アリーナ

- | | | | |
|-----------------|------------------|-------------------|-------|
| 1. 開 式 通 告 ☆司 会 | 関東学生バドミントン連盟副委員長 | 金子 瑠奈 | |
| 2. 成 績 発 表 | 競技役員長 | 日本バドミントン協会公認レフェリー | 中野 正一 |
| 3. 表 彰 | 大会会長 | 全日本学生バドミントン連盟会長 | 宮崎 重勝 |
| 4. 閉 会 の 挨 拶 | 大会会長 | 全日本学生バドミントン連盟会長 | 宮崎 重勝 |
| 5. 閉 会 宣 言 | 大会副委員長 | 関東学生バドミントン連盟委員長 | 金子 大地 |
| 6. 閉 式 通 告 ☆司 会 | 関東学生バドミントン連盟副委員長 | 金子 瑠奈 | |



(公財) 日本バドミントン協会
会長 綿貫民輔

第6回「全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」が神奈川県横浜市にある日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館で平成30年8月10、11日に開催されます。本大会は新たにスポーツ庁の後援を受け開催されますがこのことは私の深い慶びとするところであり心よりお祝い申し上げます。

現在の日本バドミントンの競技力はたいへん高くなり、オリンピックや世界選手権大会でも優勝者をだすなど大変勢いづいております。

本大会の目的は学生のミックスダブルス大会の競技力を高める事にあります。このことは、ひいては日本バドミントン界のミックスの競技力を高めることになり、日本協会としても大いに期待しております。

本大会に参加する選手は、この大会の上位に入ること
で全日本総合選手権大会の出場資格を得ることができま
す。選考された選手諸君は学生バドミントンだけではな
く、大いに日本のトップと対等に戦える力をつけて頂きたいと思ひます。選手諸君の頑張り・活躍を期待します。

最後になりますが本大会の開催にあたり格別なご支援、ご協力を賜りました関係者各位に深く感謝お礼を申し上げご挨拶いたします。

ごあいさつ



全日本学生バドミントン連盟

会長 宮崎 重勝

梅雨が例年になく、早く明けて、連日猛暑日の続く中、選手の皆様には練習に汗だくで取り組んでいることと思います。

重ねること6回目を迎えるこの大会も主催の全日本学生バドミントン連盟役員の皆様、又主管の関東学生バドミントン連盟役員の皆様の協力を得て、8月10日(金)、8月11日(土)の両日、日本体育大学健志台キャンパスに会場を戻し、開催の運びとなりました

先頃、行われました。国別対抗のトマス杯、ユーバ杯では、それぞれ準優勝、優勝(37年振り)という関係者が待ち望んでいた、嬉しい結果をもたらしてくれました。

身近な選手の快挙に選手の皆様も、心から奮い立ったのではないのでしょうか、是非感動を心に刻み、全日本選手権大会(オールジャパン)出場を目指し、学生らしく、マナー・ルールを守り、白熱したゲームが展開されることを期待します。

大会は2日間ですが暑い中での試合ですので、どうぞ体調に充分気を配り、怪我、病気などせず万全の状態で見守ってください。

最後になりましたが、開催にあたり協力いただいた関係者各位にお礼を申し上げ、挨拶といたします。



全日本学生バドミントン連盟
委員長 荒井元輝

第6回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が各地区により、多数の選手・役員のもと日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館において、盛大に開催されることを、心からお喜び申し上げます。

本大会は全日本総合バドミントン選手権大会の出場権をかけた大事な大会でもあります。2日間ですが、どうか選手の皆様が、健康管理に気を付け、マナーを守り、日頃の練習の成果を十分に発揮され、白熱した試合が繰り広げられることを期待しております。

また、本大会は全日本総合バドミントン選手権大会の予選会を兼ねておりますので、選手の皆様には、さらに上位の舞台を目指して頑張っていただきたいと思います。

大会役員として、選手の皆様が試合に集中できる環境になるよう精一杯努力していく所存でございます。

最後になりましたが、今大会が開催されるにあたり、ご支援・ご協力いただきました関係者各位の皆様方に深く感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。



神奈川県バドミントン協会

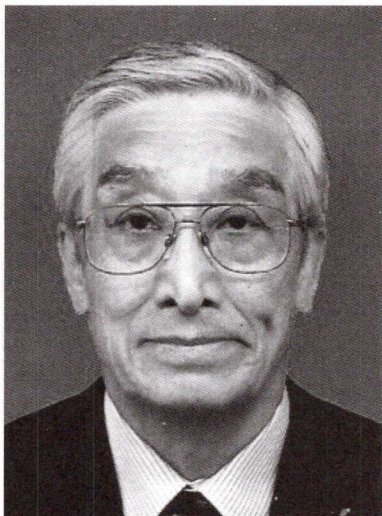
会長 羽 隅 弘 治

文部科学大臣杯争奪第6回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が、神奈川県横浜市で開催されます事を地元バドミントン関係者及びスポーツ愛好家一同、全日本学生バドミントンミックスダブルス代表選手の皆様を心より歓迎申し上げます。

第27回世界女子バドミントン選手権大会(ユーパー杯)優勝
第30回世界男子バドミントン選手権大会(トマス杯)準優勝
第108回全英オープンバドミントン選手権大会ミックスダブルス優勝等 世界で大活躍している中、一般の方々のバドミントンに対する関心が高まっています。選手の皆さんの頑張りと活躍によってフェアプレー精神や礼儀正しさ・相手選手に対する思いやり等が発信され、最後まで全力を尽くす姿に感動する盛り上がりのある大会になると期待しております。

代表選手としての自信と誇りを胸に、日頃の練習の成果と持てる力を十二分に発揮して、最高の競技を行い、大学生活の良き思い出として記憶に残る大会になるよう希望すると共に、いづれ世界の舞台で大活躍される選手の皆さんと信じております。暑い中、白熱した試合が続くと思いますが、「若さの頑張り」を発揮されますよう祈念します。又、時間がとれましたら、横浜の観光地「みなとみらい」や「元町中華街」等に、立ち寄られて、試合の疲れを癒すと共に見聞を広められます様お勧めします。

結びに、本大会開催に尽力されました関係者の皆様に敬意を表しますと共に本大会のご成功を心より祈念いたします。



関東学生バドミントン連盟

会長 遠藤 隆

さて、第6回「全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会」が平成30年8月10日、11日に神奈川県横浜市の日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館において開催できますことは誠に慶ばしいかぎりです。

当初、東西対抗として長年行われてきた大会を学生バドミントンのミックスダブルスの強化と言うことで本大会がスタートしました。以来、第6回を迎えることになります。

過去5回有資格者が地区推薦選手とペアを組んだ場合は「地区推薦枠数」に組み入れられることになっておりましたが、今回から地区推薦枠にはカウントされず、実質「地区推薦枠」が拡大することになりました。地区推薦の多くの選手が出場することでますます活気ある大会となるだろうと思います。

本大会ベスト4以上のペアには全日本総合バドミントン選手権大会本戦に、ベスト8以上のペアには同大会の予選に出場資格が与えられます。

ここ数年、日本のバドミントンの競技力は飛躍的に向上し、オリンピックのメダルを獲得したり、世界選手権やユーバ杯・トマス杯でメダルを取ったりと、いまや世界のリーダーとして活躍していることは誰しも認めるところです。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されることが決定しています。本大会に参加している選手の方々から代表選手として活躍している姿を見たいとの思いを強くしております。

本大会は学生界のみならず日本バドミントン界のミックスダブルスの競技力向上を目標として開催される大会です。選手のみなさまにおかれましては、この目標達成を目指し頑張ってください。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、多大なご支援、ご協力を賜りました関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

ごあいさつ



関東学生バドミントン連盟

委員長 金子 大地

第6回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が、各地区により、多数の選手・役員のもと神奈川県横浜市において盛大に開催されることを、心からお喜び申し上げます。

本大会は、全日本総合バドミントン選手権大会の出場権をかけた大事な大会でもあります。どうか選手の皆様が健康管理に気を付け、マナーを守り、日ごろの成果を十分に発揮され、白熱した試合が繰り広げられることを期待しております。

また、本年度は東日本大会・西日本大会があり、全日本学生バドミントン選手権大会においては京都府で開催されます。どうか皆様のあたたかいご声援お願い致します。

関東学生バドミントン連盟では、大会役員として選手の皆様が試合に集中できる環境になるよう精一杯努力していく所存でございます。

最後になりましたが、今大会が開催されるにあたり、ご支援、ご協力いただきました関係者各位の皆様方に深く感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。

大会役員

大会名誉会長	(公財)日本バドミントン協会	会 長	綿貫 民輔	
大会名誉副会長	全日本学生バドミントン連盟	名 誉 会 長	関根 義雄	
大 会 会 長	全日本学生バドミントン連盟	会 長	宮崎 重勝	
大 会 副 会 長	(公財)日本バドミントン協会 (公財)日本バドミントン協会 (公財)日本バドミントン協会 北海道学生バドミントン連盟 東北学生バドミントン連盟 関東学生バドミントン連盟 中部学生バドミントン連盟 関西学生バドミントン連盟 中・四国学生バドミントン連盟 九州学生バドミントン連盟 神奈川県バドミントン協会 (公財)日本バドミントン協会	副 会 長 副 会 長 専 務 理 事 会 長 会 長 会 長 会 長 会 長 会 長 会 長 会 長 派 遣 理 事	福田 達夫 関根 義雄 銭谷 欽治 金田 隆一 北見 正伸 遠藤 隆章 末岡 熙章 鵜木 千加子 青木 義和 伊藤 龍峰 羽隅 弘治 関根 義雄	
大 会 顧 問	森 喜朗 平田登志朗 小宮 淳宏 濱中 誠 佐藤 芳郎 遠井 稔男 星野 忠男 加藤 寛治 藤原 航 西村 健二 三井 裕	関谷 勝嗣 青木 昭二 吹田 修一 岡本 武利 竹林 克彦 岡村 英男 加藤 博司 原 紀征 真壁 幹雄 工藤 勇参	森田 一志 毛利 清志 牧野 武 野村 嘉明 油井 秀男 川島 一郎 藤本 滋 鈴木 勝之 粕井 勝人 千葉 健夫	権田 正一 内多小五郎 村山 幸雄 里見 光徳 木村 寛 板垣 隆房 藤原 和文 中山 紀子 野村 安忠 築地 孝彦
大 会 参 与	木戸 純一 濱中 勉 遠藤 隆士 吹田 真裕 本田 昇 兒嶋	阿部 秀夫 河野 幸男 升 佑二郎 金子 元彦 一寸木 邦夫	村元 英美 芝 スミ子 平野 泰宏 大束 忠司 林 忠男	坂上 昭 川合 光 佐藤 健一 平井 克英

大会役員

大会委員長 全日本学生バドミントン連盟 委員長 荒井 元輝

大会副委員長 関東学生バドミントン連盟 委員長 金子 大地
全日本学生バドミントン連盟 副委員長 渡部 なつき
全日本学生バドミントン連盟 副委員長 中山 和紀
神奈川県バドミントン協会 理事長 近藤 勇司

大会委員	銭谷 欽治	上松 芳則	小国 久美	小野 理
	河崎 正紀	京田 和男	佐竹 養一	高橋 英夫
	田部井 秀郎	民谷 千寿子	丹藤 勇一	遠井 努
	梅野 尾悦子	能登 則男	原田 利雄	山 蔭 栄
	山田 順一郎	浅岡 武	上原 信彦	三宅 祐司
	坂本 勝司	今井 正男	石川 和子	山本 洋彦
	木下 洋一	中山 廣明	桜田 豊治	五十嵐 功
	鰐川 朗	吉川 勇三郎	高木 真人	前田 吉憲
	濱路 圭	鈴木 唯夫	高須 英明	山脇 幸三
	山口 美法	井田 満男	熊切 光成	齋藤 和憲
	田中 早苗			
	遠藤 隆	升 佑二郎	平野 泰宏	川合 光
	吹田 眞士	金子 元彦	大東 忠司	佐藤 健一郎
	本田 裕士			

競 技 役 員

レフエリー (競技役員長)	(公財)日本バドミントン協会	公認レフエリー	中野 正一
デピュティーレフエリー (総務部長)	関東学生バドミントン連盟 全日本学生バドミントン連盟	委員長 委員長	金子 大地 荒井 元輝
総務副部長	関東学生バドミントン連盟 関東学生バドミントン連盟 関東学生バドミントン連盟 関東学生バドミントン連盟	副委員長 副委員長 総務部長 会計	園原 昇真 金子 瑠奈 山崎 慎也 鴨下 希穂
総務委員	日山 美佳 新井 杏輔 中山 和紀 岩崎 凜太郎	渡部 なつき 堀田 瑛仁	佐藤 沢馬
デピュティーレフエリー (競技審判部長)	(公財)日本バドミントン協会 関東学生バドミントン連盟	公認レフエリー 審判部長	堀野 雅裕 三澤 勇人
競技審判副部長	関東学生バドミントン連盟 関東学生バドミントン連盟	常任委員 常任委員	金子 元彦 風間 瑠菜
競技委員	金子 瑠奈 園原 昇真 川合 光 高橋 慶 五島 あかり 高野 拓朗	瀧田 祐希 井村 友哉 日野 滋斗	升 佑二郎 片桐 悠夏 湊 彩華
救 護	有吉 晃平		
審 判 員	神奈川県バドミントン協会審判 関東学生バドミントン連盟	加盟大学バドミントン部部員	

大 会 要 項

1. 主 催 公益財団法人 日本バドミントン協会、全日本学生バドミントン連盟
2. 主 管 関東学生バドミントン連盟、神奈川県バドミントン協会
3. 後 援 スポーツ庁、ベースボール・マガジン社
4. 協 賛 ヨネックス（株）、ミズノ（株）、薫風スポーツ（株）
5. 期 日 平成30年8月10日（金）～8月11日（土）
6. 日 程 平成30年8月10日（金） 9：30 代表者会議、審判会議
10：00 開 会 式
10：30 試合開始（1～4回戦）
11日（土） 10：00 試合開始（5回戦・準決勝・決勝）
表彰式、閉会式（競技終了後）
7. 会 場 日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館
〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 1221-1
TEL：045-963-7900 FAX：045-963-7903
8. 種 目 混合複
9. 競 技 規 則 平成30年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、同公認審判員規程による
10. 競 技 方 法 トーナメント方式とし3位決定戦は行わない。
11. 使用用器具 （公財）日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び平成30年度第1種検定合格水鳥球を使用する
12. 参 加 資 格 平成30年度（公財）日本バドミントン協会及び全日本学生連盟に登録しており、下記に該当する者
 - （1）平成29年度第68回全日本学生バドミントン選手権大会男女ダブルスでベスト32以上の選手で平成30年度学生連盟登録者
 - （2）平成29年度第68回全日本学生バドミントン選手権大会男女シングルスでベスト32以上の選手で平成30年度学生連盟登録者
 - （3）全日本学生バドミントン連盟に推薦された選手（若干名）
 - （4）各地区学生連盟に推薦された選手
推薦による枠数は以下の通りとする
北海道4組 東北4組 関東8組 中部4組 関西6組
中四国4組 九州4組
 - （5）前年度本大会のベスト8入賞選手
 - （6）（公財）日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること
※ 上記（4）による推薦者が、（1）（2）（3）の選手とペアを組んだ場合は、その人数を繰り上げし、各地区推薦枠数は（4）のままの枠数とする。
13. 組 合 せ （公財）日本バドミントン協会指名の競技役員長（レフェリー）もしくは、競技審判部長（デピュティレフェリー）指示の下、主管団体及び全日本学生バドミントン連盟との間で厳正に執り行う。
14. 参加費納入方法
 - （1）1組 6,000円
 - （2）各地区学生連盟で一括して関東学生連盟の下記口座に納入すること。
振込先 みずほ銀行 渋谷支店(210)
口座番号 1831228
口座名義 関東学生バドミントン連盟(代表 遠藤 隆)
会計責任者 鴨下 希穂（かもした きほ）携帯 080-1294-9899
納入開始日及び締切日 平成30年6月26日(火)～7月4日(水)
15. 申込締切り
 - （1）入力した「申し込みファイル」 平成30年7月 4日（水）24時必着
 - （2）印刷した「正・副」 平成30年7月14日（土）必着

大 会 要 項

16. 申込書送付方法 (1) 全日本学生連盟ホームページからダウンロードした所定の申込書に必要事項を入力し「入力したファイル」を電子メールにて下記宛て送付すること。

kantoibf.senshuken@gmail.com

※メールの件名、ファイル名は「ミックス大会申込 **大学」として下さい。

- (2) メールで申込み後、「入力したファイル」を3部印刷し、各々を正・副・控として『都道府県協会会長印を捺印』の上、登録地区学連事務局へ送付すること。(提出ない場合は棄権扱いとし大会に出場できない)。

各地区学連は送付された申込書の「正・副」を一括して下記大会事務局まで送付すること。

なお「控」は各地区学連で保管のこと(大会当日持参してください)

17. 表彰 (1) 優勝・準優勝及び3位には(公財)日本バドミントン協会より金メダル、銀メダル、銅メダルを授与する。

- (2) 優勝から第3位までの選手に表彰状を授与する。

18. 代表者会議 平成30年8月10日(金) 9:30 代表者会議

日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館視聴覚室

19. 大会事務局 〒227-0033

横浜市青葉区鴨志田町560-5 サンヒルズ金子303号室 気付

第6回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会事務局

関東学生バドミントン連盟 委員長 金子大地(080-2266-0701)

20. 宿泊 宿泊の斡旋は致しません。各自でお取り下さい。

21. 着衣 色付き着衣を使用する場合は競技の品位を保つために(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣ウェアの背面には大学名を必ず明示すること(全日本学生バドミントン連盟ホームページ「各種書類」にある『着衣上の背面、ロゴ等の表示に関する取り決め』を参照のこと)。

また、ゼッケンを使用する場合には、横30cm 縦15cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。なお、文字列の大きさについては(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。

22. 備考 (1) 競技者(部長、監督、コーチ、主将、主務、選手)は必ず(公財)日本バドミントン協会登録会員であること。

- (2) 競技者は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。また競技場に入る際は、必ず室内シューズを着用すること。

- (3) 事故があった場合には、応急処置は行うが、その後の責任は各参加者の負担とする。

- (4) 各大学は、代表者会議に1名、開会式には選手全員が必ず出席すること。

- (5) 病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。

- (6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

- (7) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。

- (8) (公財)日本バドミントン協会環境委員会からのお願い

①開催地のゴミの分別収集にご協力下さい。(ゴミは各大学で責任をもって持ち帰って下さい。)

②宿泊先の部屋から出る時には必ず、エアコン、テレビ、ライトのスイッチを消して下さい。

③マイ歯ブラシを持参して大会に参加して下さい。

※1. ベスト4までの入賞者は全日本総合バドミントン選手権大会混合複本戦に推薦する。

※2. ベスト8までの入賞者は全日本総合バドミントン選手権大会混合複予選に推薦する。

競技・審判上の注意

1. 競技上の注意

1) 競技規則等について

本大会は、平成 30 年 4 月 1 日現在の（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程および同公認審判員規程により行います。

2) 競技方法について

トーナメント方式とし、3 位決定戦は行いません。

3) 選手の集合について

試合の進行状況によっては、試合開始時間や試合順序及びコートを変更して試合を行う場合があります。各大学、選手はパートナー同士の到着を確認してから受け付けを済ませてください。

原則として選手は、試合開始予定時間の 1 時間前には試合会場にて待機してください。

試合のコールがされたら選手は、速やかにコートに直接集合してください。コール後 5 分以上経過してコートに選手が揃わない場合には棄権とみなす場合があります。

あらかじめ棄権がわかっている場合には、代表者会議の際に申し出てください。

（所定の棄権届出用紙に必要事項を記載し、提出していただきます。）

4) 練習時間について

試合ごとにトスの後にパートナー同士に抛る 2 分以内の練習を認めます。この試合前練習以外に練習時間は特に設けません。空きコート及び競技区域外では、シャトルを打ったり素振りやフットワークをしたりする等、練習は一切できません。

5) 連続試合のレストタイムについて

連続試合の場合は、試合終了後 20 分程度のレストタイムを設けます。

6) インターバルについて

すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが 11 点になったとき、60 秒を超えない インターバルを認め、第 1 ゲームと第 2 ゲームの間、第 2 ゲームと第 3 ゲームの間に、120 秒を超えないインターバルを認めます。

7) アドバイスについて

シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ中にアドバイスを受けることができます。コーチは、許可されたインターバルを除き、指定された椅子に着席するものとし、チェンジエンスの都度、帯同するサイドへの移動をお願いいたします。

各コートのバックバウンダリーライン後方にコーチ席を 2 席配置します。監督・コーチはマッチ（試合）にふさわしい服装で臨んでください。

8) 競技時のプレーヤーの服装について

色付き着衣を使用する場合は（公財）日本バドミントン協会の審査合格品を限度とします。また、上衣背面に所属する大学名をはっきり確認できるよう明示してください。ゼッケンを使用する場合には四隅をしっかりと固定してください。（表示については大会運営規程第 24 条を遵守してください。ロゴの表示については全日本学生バドミントン連盟に申請して許可されたものに限り、所定の位置に明示する事を認めます。）

9) シャトルについて

シャトルは、第 1 種検定合格品を使用し、銘柄の変更には応じられません。マッチ（試合）内は、1 銘柄固定とします。

また、使用シャトルのスピードについては、レフェリー（競技役員長）が決定します。

10) 携帯電話について

競技者は、マッチ（試合）中の競技区域または、コート周辺では電子機器（携帯電話等）の電源はオフにしてください。また、コーチ席においても、電子機器の使用は禁止します。（スマートフォンでの写真や動画の撮影もできません）。

マッチ（試合）中のコートまたはその周辺において携帯電話が鳴った場合、競技規則第 16 条 6 項 (4) の違反とみなし、同第 16 条 7 項を適用します。

11) 試合中の怪我や病気について

試合中の病気やその他の事故のため競技を続行できないときは、主審はレフェリーに報告し、レフェリーの判定により棄権とみなします。なお、試合中の応急処置は主催者側で行いますが、その後の処置は各自の責任とします。

12) 競技マナー

選手は、プレー継続の妨げになるような行為は慎んでください。又、主審（サービス・ジャッジ）、線審の判定に影響を与えるような、身振り手振り、そしてラケットを使用しての威嚇、或いは言葉による冒とく等を不品行な振る舞いとして処置します。また、試合終了時に、主審、サービスジャッジと握手するよう心掛けてください。

また、応援は拍手のみと致します。選手、応援者とも、大会期間中は全ての機会において、スポーツマンシップに則った行動を意識してください。

競技・審判上の注意

2. 審判上の注意

1) 審判の担当について

主審は主管者にて行います。

線審は、8月10、11日（各種目1～5回戦）については、各日初回の試合は主管者で行いますが、以降の試合の敗者の方は線審に就いてください。11日（準決勝以降）の試合はすべて主管者側で行います。

得点表示係は、対戦両者相談の上、配置をお願い致します。

2) スコアリングシステムについて

すべての種目を21ポイント3ゲームマッチ（ラリーポイント制）にて行います。スコアが20－20になった場合、その後2点リードをしたサイドがそのゲームの勝者となり、29－29になった場合には先に30点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となります。

3) プレーヤーがコートを離れることについて

プレーヤーは競技規則第16条第2項のインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートから離れてはなりません。給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。なお、給水の容器についてはフタ付きのものとし、倒れてもこぼれないものを使用してください。缶や紙パックのドリンクの持ち込みは禁止とします。

4) プレーの遅延について

プレーヤーは、どんなことがあっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはなりません。また、コート内を不必要に歩き回ったりすることは許されません。

5) コートの外からのアドバイスについて

シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ（試合）中、アドバイスを受けることができます。

6) プレーヤー以外の競技者がコートに入るについて

プレーヤー以外の者は、原則としてコートに入ってはなりません。競技規則第16条第2項に定めるインターバルでは、どちらのサイドも同時に2人までエンドが替った後のコートに入ることができます。そして、主審が「…20秒」とコールしたらコートから離れるものとします。

7) シャトルの交換について

マッチ（試合）中のシャトルの交換は、主審が必要かどうかを決定します。

8) 不品行な振舞いについて

競技規則第16条第4項、第5項、第6項のいかなる違反に対しても、主審は次の処置をとります。

(1) 違反したサイドに警告をします。

(2) 一度警告の受けた後、再び違反した場合は、そのサイドをフォルトにします。

(3) 目に余る不品行な振舞いをしたり、またはそれを持続したりした場合には、その違反したサイドをフォルトとし、直ちに競技役員長（レフェリー）に報告します。

9) 判定への質問について

審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーに限り質問することが認められます。ただし、抗議あるいは異議であってはなりません。

10) マッチ（試合）中の棄権について

マッチ（試合）中に選手から棄権の申し出があったときには、主審が判断します。

11) 線審の判定について

線審は担当ラインについて、「イン」・「アウト」・「判定できない」を判定し、合図をしてください。また、アウトのときは、大きな声で「アウト」とコールしてください。

3. その他の注意

1) 部旗・応援旗の掲示について

部旗等は競技に支障をきたさない大きさのものを使用してください。競技に支障をきたすと判断される場合には、移動をお願いいたします。また、部旗等は観覧席に掲示するものとし、貼り付ける場合には必ずひもを使用してください。

2) ビデオ撮影について

試合中のビデオ撮影は、バッテリーを使用した撮影のみ認めます。体育館内の電源を使用することは禁止します。フロアレベルでの撮影は、事前に申請し許可を得た者のみ認めます。

競技・審判上の注意

3) ごみについて

大会中に発生したごみは、各自必ずお持ち帰りください。また、館内の自動販売機以外で購入したペットボトルは、必ずお持ち帰りください。

(館内の自動販売機に設置してある空容器収納ボックスに絶対捨ててはいけません。)

4) 喫煙について

会場内での喫煙は、館外に指定された場所以外では絶対吸わないでください。トイレで喫煙するような行為があれば、大会が続行できませんので絶対しないでください。

5) 飲食について

アリーナ内での飲食は禁止します。

6) その他

①フロアー内は土足禁止です。フロアー内では必ず室内シューズを着用してください。

②ロージンバッグ(ロージンバッグ使用の場合更に袋を使用する事)・雑巾・氷嚢等をフロアー内に持ち込む場合は、床を保護する物を下に敷いてください。また、フロアー内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止しますが、ラケットバッグに入る程度の小さなクーラーバッグは持込を認めます。飲み物は専用のバスケットを用意しますので、その中に置くようにしてください。

(※ただし、万が一床を濡らしたり、汚した場合には速やかに清拭してください。)

③貴重品は各自で管理してください。盗難・紛失には責任をおいせん。

④会場内での事故による応急処置はいたしますが、その後の責任は各参加者の負担となります。また、傷病発生の場合には、必ず大会本部まで届け出てください。

日本バドミントン協会通達

平成25年5月11日

加盟団体 各位

公認レフェリー 各位

公益財団法人 日本バドミントン協会

競技審判委員会

大会運営規程一部変更についての緊急通達

試合中のモバイル機器を使用したコーチングの禁止について

2012年12月にBWFではモバイル機器(iPad・携帯電話等)を使用しての試合中のアドバイス・コーチングを禁止としました。

本会としてもBWFルールに基づき平成25年度5月11日以降の全ての大会においてモバイル機器使用による試合中のアドバイス・コーチングを禁止することとします。

(平成25年5月11日開催の理事会で決定)

大会運営に携わる競技役員特に日バ公認レフェリー及び、指導にあたる監督・コーチの方々は十分に理解し対応をお願いします。

以上

大会日程

8月10日(金)	日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館アリーナ		
	代表者会議	9時30より	視聴覚室
	審判会議	9時30より	審判控室
	開会式	10時より	メインアリーナ
	1～4回戦	10時30分より	メインアリーナ

8月11日(土)	日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館アリーナ		
	審判会議	9時30分より	審判控室
	5回戦、 準決勝・決勝	10時より	メインアリーナ
	表彰式、閉会式	(競技終了後)	メインアリーナ

タイムテーブル

タイムテーブルⅠ	第1日目【8月10日(金)】										
	日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館										

コート		1	2	3	4	5	6	7	8		
10:30～	1回戦	1	2	3	4	5	6	7	8		
	2回戦	9	10	11	12	13	14	15	16		
		17	18	19	20	21	22	23	24		
		25	26	27	28	29	30	31	32		
		33	34	35	36	37	38	39	40		
	3回戦	41	42	43	44	45	46	47	48		
		49	50	51	52	53	54	55	56		
	4回戦	57	58	59	60						
						61	62	63	64		

※試合の進行等によりコートを変更して行う場合もある。
 ※試合が連続する場合は20分間程度の時間をあけて行う。

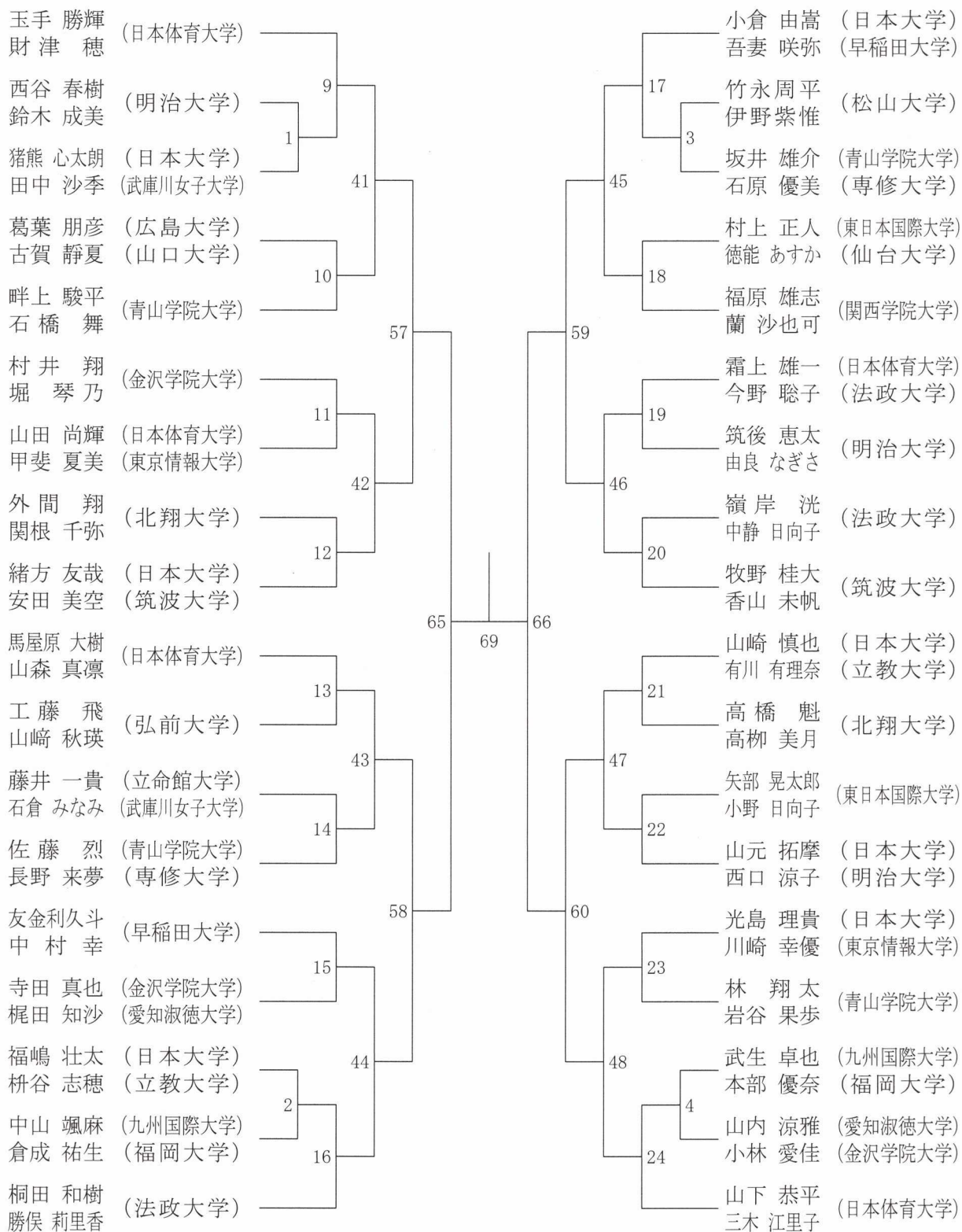
タイムテーブルⅡ	第2日目【8月11日(土)】										
	日本体育大学健志台キャンパス米本記念体育館										

コート		1	2	3	4	5	6	7	8		
10:00～	5回戦		65	66			67	68			
	準決勝		69			70					
	決勝				71						

※試合の進行等によりコートを変更して行う場合もある。
 ※試合が連続する場合は20分間程度の時間をあけて行う。

組 合 せ

混合ダブルス - 1



組 合 せ

混合ダブルス - 2



選 手 名 簿

有資格者(平成29年全日本学生選手権大会ベスト32)

1	千葉 一孝	東日本国際大学	13	光島 理貴	日本大学	25	佐藤 烈	青山学院大学
	中野 有沙	東日本国際大学		川崎 幸優	東京情報大学		長野 来夢	専修大学
2	矢部晃太郎	東日本国際大学	14	山崎 慎也	日本大学	26	谷口 拓実	日本大学
	小野日向子	東日本国際大学		有川有理奈	立教大学		縄田 佳子	青山学院大学
3	牧野 桂大	筑波大学	15	木村 亮介	日本大学	27	伏見 勇真	青山学院大学
	香山 未帆	筑波大学		西浦 京香	東京情報大学		葛谷 美紅	青山学院大学
4	玉手 勝輝	日本体育大学	16	藤井 湧也	日本大学	28	畔上 駿平	青山学院大学
	財津 穂	日本体育大学		工藤ひな子	法政大学		石橋 舞	青山学院大学
5	市川 和洋	日本体育大学	17	猪熊心太郎	日本大学	29	林 翔太	青山学院大学
	池内 萌絵	日本体育大学		田中 沙季	武庫川女子大学		岩谷 果歩	青山学院大学
6	山下 恭平	日本体育大学	18	酒井 健登	明治大学	30	寺田 真也	金沢学院大学
	三木江里子	日本体育大学		谷澤 安衣	専修大学		梶田 知沙	愛知淑徳大学
7	三上 楓	日本体育大学	19	仁平 澄也	明治大学	31	柴田 一樹	敬和学園大学
	清水 一希	法政大学		上杉 夏美	明治大学		重松 花苗	明治大学
8	馬屋原大樹	日本体育大学	20	武石 優斗	明治大学	32	山下 大輔	関西学院大学
	山森 真凜	日本体育大学		渡辺 帆南	明治大学		重信 萌夏	関西学院大学
9	小本 翔太	日本体育大学	21	桐田 和樹	法政大学	33	福原 雄志	関西学院大学
	宅島あや子	福岡大学		勝俣莉里香	法政大学		蘭 沙也可	関西学院大学
10	西 豊	日本大学	22	野村 拓海	法政大学	34	藤井 一貴	立命館大学
	桶田 彩乃	専修大学		鈴木 優香	法政大学		石倉みなみ	武庫川女子大学
11	小倉 由嵩	日本大学	23	野田 悠斗	法政大学			
	吾妻 咲弥	早稲田大学		伊東 佑美	法政大学			
12	緒方 友哉	日本大学	24	山澤 直貴	法政大学			
	安田 美空	筑波大学		甲斐妃美子	法政大学			

全日本学連及び各地区推薦選手

1	河野 匠真	日本体育大学	5	村上 正人	東日本国際大学	18	戸内 佑亮	関西学院大学	
	平野 紗妃	早稲田大学		徳能あすか	仙台大学		結城咲也子	関西学院大学	
2	日野 滋斗	日本大学	6	後藤 亮貴	東日本国際大学	19	芦塚貴一郎	立命館大学	関西
	鈴木ゆうき	早稲田大学		松田ほのか	仙台大学		吉田 葉那	立命館大学	(3)
3	福嶋 壮太	日本大学	7	工藤 飛	弘前大学	20	山中 東季	京都産業大学	
	栢谷 志穂	立教大学		山崎 秋瑛	弘前大学		若林 真名	京都産業大学	
4	筑後 恵太	明治大学	8	浜中 智基	弘前大学	21	長谷部伸洋	松山大学	
	由良なぎさ	明治大学		原田 麻畝	弘前大学		菅野 菜々	松山大学	
5	山田 尚輝	日本体育大学	9	霜上 雄一	日本体育大学	22	甲斐 一	松山大学	中四国
	甲斐 夏美	東京情報大学		今野 聡子	法政大学		松島みなみ	松山大学	(4)
6	田中 湧士	日本大学	10	村本 竜馬	日本体育大学	23	竹永 周平	松山大学	
	柿本 由乃	東京女子体育大学		吉村 七美	東京情報大学		伊野 紫惟	松山大学	
7	友金利久斗	早稲田大学	11	山元 拓摩	日本大学	24	葛葉 朋彦	広島大学	
	中村 幸	早稲田大学		西口 涼子	明治大学		古賀 静夏	山口大学	
8	嶺岸 洸	法政大学	12	安藤 大地	日本大学	25	濱崎 駿	九州国際大学	
	中静日向子	法政大学		十河 菜由	明治大学		中村菜里子	福岡大学	
9	森田新太郎	筑波大学	13	西谷 春樹	明治大学	26	志垣 祐斗	福岡大学	九州
	遠山きよら	立教大学		鈴木 成美	明治大学		有馬 弥優	福岡大学	(4)
10	坂井 雄介	青山学院大学	14	村井 翔	金沢学院大学	27	武生 卓也	九州国際大学	
	石原 優美	専修大学		堀 琴乃	金沢学院大学		本部 優奈	福岡大学	
1	高橋 魁	北翔大学	15	伊藤 吏永	金沢学院大学	28	中山 颯麻	九州国際大学	
	高柳 美月	北翔大学		遠藤 歩美	愛知淑徳大学		倉成 祐生	福岡大学	
2	外間 翔	北翔大学	16	岩元ミライ	金沢学院大学				
	関根 千弥	北翔大学		川村紗瑛子	金沢学院大学				
3	小川 涼真	北翔大学	17	山内 涼雅	愛知淑徳大学				
	矢野あすか	北翔大学		小林 愛佳	金沢学院大学				
4	佐藤 昂平	札幌大学							
	花田 優依	札幌大学							

★有資格者とは、前年度インカレ単複ベスト32位、前年度本大会ベスト8位、全日本学連推薦者を言う。

★有資格者と各地区推薦選手、全日本学生連盟推薦選手と各地区推薦選手がペアを組んだ場合も有資格者に含める。

秩父宮・秩父宮妃杯争奪 第67回全日本学生バドミントン選手権大会

ベスト16位

種目	MT 男子団体	WT 女子団体	MS 男子単	MD 男子複	WS 女子単	WD 女子複
参加数	32	32	101	100	100	98
優勝	早稲田大学	筑波大学	古賀 穂 (早稲田大学)	玉手 勝輝 山下 恭平 (日本体育大学)	中西 貴映 (早稲田大学)	加藤 美幸 柏原 みき (筑波大学)
準優勝	龍谷大学	龍谷大学	小本 翔太 (日本体育大学)	西川 裕次郎 野村 拓海 (法政大学)	嶺井 優希 (龍谷大学)	朝倉 みなみ 斉藤 ひかり (龍谷大学)
3 位	中央大学	明治大学	牧野 桂大 (筑波大学)	市川 和洋 馬屋原 大樹 (日本体育大学)	古川 佳奈 (作新学院大学)	中西 貴映 吾妻 咲弥 (早稲田大学)
	日本体育大学	早稲田大学	山澤 直貴 (法政大学)	中里 裕貴 小野寺 雅之 (早稲田大学)	谷澤 安衣 (専修大学)	牟田 香菜子 山藤 千彩 (龍谷大学)
5 位	帝京大学	法政大学	小倉 由嵩 (日本大学)	酒井 健登 仁平 澄也 (明治大学)	勝俣 莉里香 (法政大学)	毛利 未佳 野田 千遥 (龍谷大学)
	日本大学	日本体育大学	猪熊 心太郎 (日本大学)	小倉 由嵩 三橋 健也 (日本大学)	前田 悠希 (法政大学)	瀬川 桃子 村上 晃 (明治大学)
	関西学院大学	専修大学	大関 修平 (中央大学)	小川 桂汰 柴田 一樹 (敬和学園大学)	朝岡 依純 (龍谷大学)	宮浦 玲奈 勝俣 莉里香 (法政大学)
	法政大学	立命館大学	成富 勇太 (龍谷大学)	中島 拓哉 本田 大樹 (龍谷大学)	瀬川 桃子 (明治大学)	桶田 彩乃 谷澤 安衣 (専修大学)
9 位	敬和学園大学	愛知淑徳大学	小川 桂汰 (敬和学園大学)	五十嵐 優 中田 政秀 (中央大学)	齋藤 佳奈 (北翔大学)	古賀 菜々子 甲斐 郁美 (龍谷大学)
	京都産業大学	松山大学	桐田 和樹 (法政大学)	佐藤 烈 伏見 勇真 (青山学院大学)	宮浦 玲奈 (法政大学)	中野 有沙 小野 日向子 (東日本国際大学)
	北翔大学	金沢学院大学	岡村 尚輝 (北翔大学)	桐田 和樹 山澤 直貴 (法政大学)	中静 日向子 (法政大学)	宇都宮 茉佑 重信 萌夏 (関西学院大学)
	近畿大学	日本大学	本田 大樹 (龍谷大学)	川端 祥 大関 修平 (中央大学)	阿部 英 (日本女子体育大学)	遠山 きよら 有川 友理奈 (立教大学)
	同志社大学	関西学院大学	西野 勝志 (筑波大学)	成富 勇太 内田 裕太郎 (龍谷大学)	結城 杏 (立命館大学)	伊澤 董 重山 智佳 (専修大学)
	明治大学	作新学院大学	五十嵐 優 (中央大学)	神谷 真吾 三上 楓 (日本体育大学)	加藤 美幸 (筑波大学)	田中 瑞穂 志水 美穂 (龍谷大学)
	九州国際大学	北翔大学	小野寺 雅之 (早稲田大学)	馬場 湧生 牧野 桂大 (筑波大学)	田中 沙季 (武庫川女子大学)	柄本 ゆき乃 野田 帆奈美 (龍谷大学)
	筑波大学	青山学院大学	三橋 健也 (日本大学)	山崎 慎也 木村 亮介 (日本大学)	安田 美空 (筑波大学)	安田 美空 香山 未帆 (筑波大学)

秩父宮・秩父宮妃杯争奪 第67回全日本学生バドミントン選手権大会

ベスト32位

種目	MT 男子団体	WT 女子団体	MS 男子単	MD 男子複	WS 女子単	WD 女子複
参加数	32	32	101	100	100	98
17位	高知大学	甲南大学	原口 翔多 (法政大学)	笠谷 修吾 片桐 悠輔 (北翔大学)	菅野 菜々 (松山大学)	吉森 朱里 石井 梨紗 (専修大学)
	熊本学園大学	北海道教育大学 旭川校	菊地 裕太 (富士大学)	乙訓 浩司 松原 拓己 (東京経済大学)	寺田 桃香 (青山学院大学)	松本 悠里 三枝 舞奈 (関西学院大学)
	大阪経済大学	同志社大学	林 翔太 (青山学院大学)	西 豊 光島 理貴 (日本大学)	蘭 沙也可 (関西学院大学)	細川 栞 柿本 由乃 (東京女子体育大学)
	仙台大学	久留米大学	馬場 湧生 (筑波大学)	水口 恭兵 藤井 一貴 (立命館大学)	吾妻 咲弥 (早稲田大学)	中村 幸 桃井 伶実 (早稲田大学)
	東日本国際大学	札幌大学	西川 裕次郎 (法政大学)	新 宗樹 寺田 真也 (金沢学院大学)	高橋 はるか (龍谷大学)	西浦 京香 川崎 幸優 (東京情報大学)
	甲南大学	熊本学園大	藤井 一貴 (立命館大学)	池田 朋也 石川 泰成 (関西学院大学)	池田 有希 (北翔大学)	辻田 真希 若林 千織 (龍谷大学)
	神奈川大学	関西大学	後藤 裕太 (龍谷大学)	藤 慶行 山村 祐樹 (日本大学)	後藤 にこ (明治大学)	橋本 紗苗 松本 未玖 (立命館大学)
	新潟大学	金沢星稜大学	大平 洸輝 (明治大学)	木村 尋斗 畔上 駿平 (青山学院大学)	石澤 未夢 (北翔大学)	大谷 真代 落司 実留 (龍谷大学)
	立命館大学	東北学院大学	細山田 真也 (龍谷大学)	緒方 友哉 谷口 拓実 (日本大学)	朝倉 みなみ (龍谷大学)	甲斐 妃美子 鈴木 優香 (法政大学)
	北海道教育大学 旭川校	東日本国際大学	澁谷 勇希 (明治大学)	川原 祥人 坂口 拓未 (龍谷大学)	香山 未帆 (筑波大学)	池田 有希 矢上 璃奈 (北翔大学)
	東京経済大学	広島修道大学	野田 悠斗 (法政大学)	谷口 友章 原口 拓巳 (日本大学)	毛利 未佳 (龍谷大学)	渡辺 帆南 重松 花苗 (明治大学)
	松山大学	京都産業大学	山下 恭平 (日本体育大学)	寺脇 慎悟 大島 侑也 (同志社大学)	牟田 香菜子 (龍谷大学)	伊東 佑美 清水 一希 (法政大学)
	金沢学院大学	東京女子体育大学	大堀 新 (金沢学院大学)	松本 康平 古賀 穂 (早稲田大学)	石橋 美咲子 (東京情報大学)	嶺井 優希 志波 寿奈 (龍谷大学)
	中京大学	神戸学院大学	田中 佑貴 (龍谷大学)	吉村 海二 遠藤 真彦 (北翔大学)	松岡 英美 (早稲田大学)	中村 恭子 山森 真凜 (日本体育大学)
	青山学院大学	福岡大学	藤井 湧也 (日本大学)	東 優太 西坂 昇 (同志社大学)	伊澤 董 (専修大学)	宅島 あや子 中村 菜里子 (福岡大学)
	天理大学	山口大学	北里 元輝 (関西学院大学)	岡本 侑也 和田 征大 (帝京大学)	中野 有沙 (東日本国際大学)	宮本 真実 横山 文香 (金沢学院大学)

- 1) 昨年のインカレでダブルス・シングルスともベスト32位の者は本大会に推薦される。
- 2) 昨年の大会でベスト8位の者は本大会に推薦される。
- 3) 上記以外に、全日本学連(若干名)と7地区各学連から指定された枠内で推薦がある。
- 4) 平成29年度4年生は参加資格はない。

過 去 の 成 績

年	回	順位	名 前(男子)	大学名	名 前(女子)	大学名	開催地
2013	1	1	藤巻 嵩寛	日本体育大学	本郷 由貴	日本体育大学	神奈川
		2	塚本 好喜	日本体育大学	関根 早織	日本体育大学	
		3	樋渡 元志	金沢学院大学	樋口亜依美	関西学院大学	
		3	長谷川達也	日本体育大学	木戸よし美	日本体育大学	
2014	2	1	竹内 義憲	日本体育大学	木戸よし美	日本体育大学	神奈川
		2	松村 健太	日本体育大学	関町理紗子	日本体育大学	
		3	古賀 輝	早稲田大学	清水 恵	早稲田大学	
		3	三浦 光将	日本体育大学	浦谷 夏未	専修大学	
2015	3	1	齋藤 太一	早稲田大学	島田きらら	早稲田大学	神奈川
		2	古賀 輝	早稲田大学	清水 恵	早稲田大学	
		3	富岡 寿将	早稲田大学	我妻美紗紀	早稲田大学	
		3	高野 将斗	明治大学	高崎 真実	明治大学	
2016	4	1	五十嵐 優	中央大学	安田 美空	筑波大学	東京
		2	松居圭一郎	日本体育大学	中村 恭子	日本体育大学	
		3	玉手 勝輝	日本体育大学	財津 穂	日本体育大学	
		3	馬場 湧生	筑波大学	加藤 美幸	筑波大学	
2017	5	1	古賀 穂	早稲田大学	中西 貴映	早稲田大学	千葉
		2	玉手 勝輝	日本体育大学	財津 穂	日本体育大学	
		3	西川裕次郎	法政大学	宮浦 玲奈	法政大学	
		3	仁平 澄也	明治大学	上杉 夏美	明治大学	
2018	6	1					神奈川
		2					
		3					
		3					
2019	7	1					
		2					
		3					
		3					
2020	8	1					
		2					
		3					
		3					
2021	9	1					
		2					
		3					
		3					
2022	10	1					
		2					
		3					
		3					
2023	11	1					
		2					
		3					
		3					
2024	12	1					
		2					
		3					
		3					
2025	13	1					
		2					
		3					
		3					
2026	14	1					
		2					
		3					
		3					

全日本学生バドミントン連盟 歴代委員長・副委員長名簿

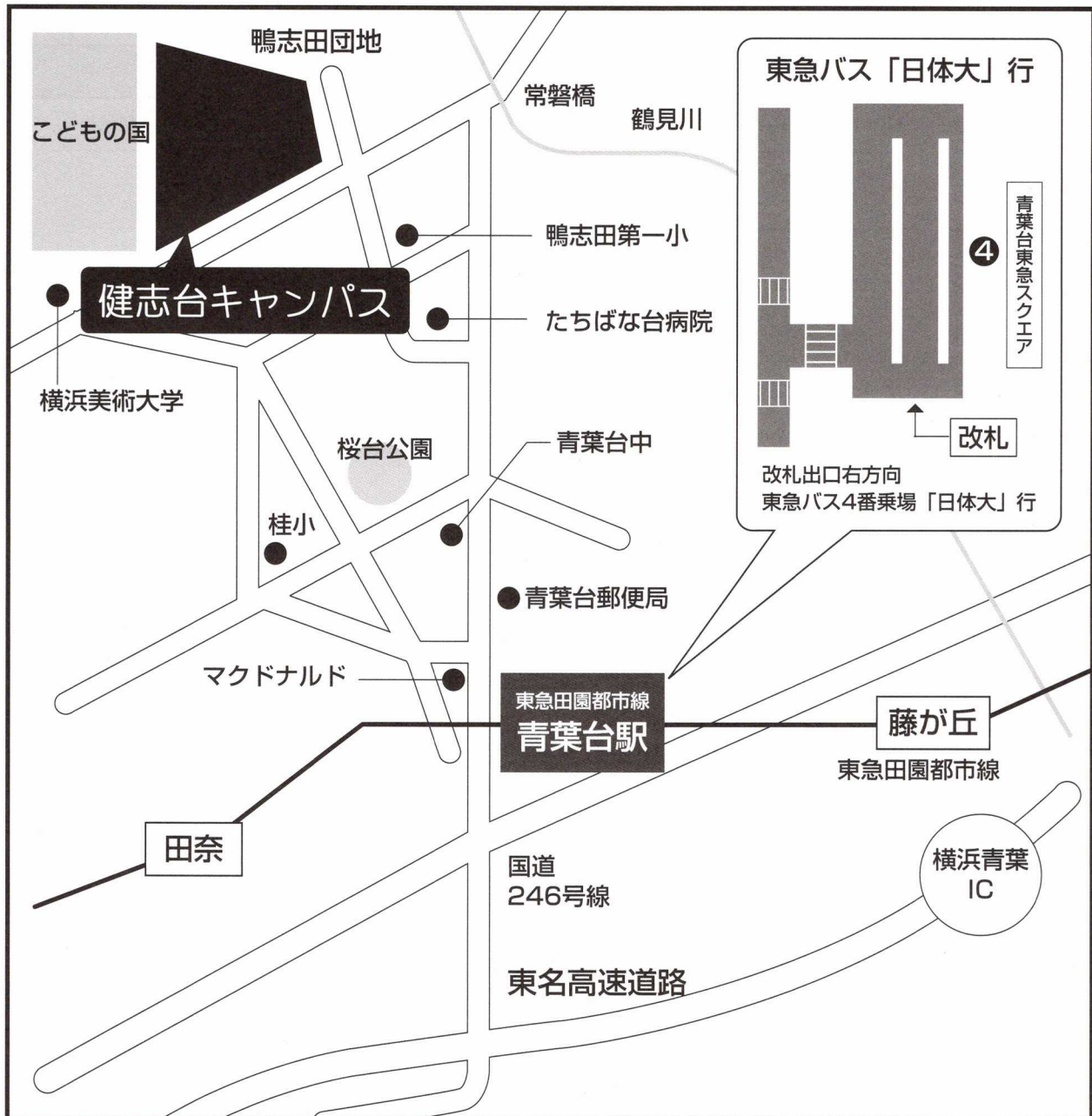
年	回	委員長		副委員長			
昭和25	1	中野 博吉	(法 大)	児玉 功	(明治大)	大圃 秀生	(関学大)
26	2	中野 博吉	(法 大)	児玉 功	(明治大)	大圃 秀生	(関学大)
27	3	中野 博吉	(法 大)			大圃 秀生	(関学大)
28	4	本多 養生	(立教大)			高谷 芳明	(同志社大)
29	5	有馬 英三	(立教大)			武田 一徳	(関学大)
30	6	勝俣 光博	(法 大)	鳴海 国博	(日 大)	小林正太郎	(同志社大)
31	7	七尾 邦彦	(明 大)			西 慶修	(関 大)
32	8	折井 利彦	(立 大)				
33	9	関本 宣治	(日 大)			田中 康夫	(関学大)
34	10	春日 操	(明 大)	三浦 秀夫	(慶 大)	西山 政弘	(関 大)
35	11	石川 千明	(立 大)				
36	12	今井 国夫	(慶 大)				
37	13	原 紘一	(法 大)				
38	14	平林 久志	(慶 大)	泰 浩	(立 大)		
39	15	泰 浩	(立 大)				
40	16	尾 健生	(明 大)				
41	17	二方 忠英	(慶 大)	富橋 末治	(法 大)		
42	18	渡辺 清司	(慶 大)	木村 登	(明 大)		
43	19	柴原 広守	(青学大)	本島 義男	(明 大)		
44	20	本島 義男	(明 大)	菅原 元	(慶 大)		
45	21	菅原 元	(慶 大)	谷浦 隆	(日体大)		
46	22	桐竹 賢	(早 大)	保坂 佳人	(日体大)		
47	23	大胡田 茂	(早 大)	池田 茂樹	(専 大)		
48	24	中村 和衛	(明 大)	白鳥 路雄	(青学大)		
49	25	中島 一雄	(日体大)	大川 章	(法 大)		
50	26	生田 隆朗	(青学大)	栗 英剛	(中 大)		
51	27	栗 英剛	(中 大)	細田 仁	(慶 大)		
52	28	坂根 清貴	(日体大)	鈴木 三郎	(法 大)		
53	29	林 健二	(立 大)	渡辺 雅人	(慶 大)	高橋 清治	(日体大)
54	30	渡辺 雅人	(慶 大)	川上 隆康	(法 大)		
55	31	星野 寛一	(日体大)	中原 岳志	(青学大)		
56	32	稲垣 明	(明 大)	中原 岳志	(青学大)	鈴木 仁一	(日体大)
57	33	鈴木 仁一	(日体大)	青木 孝	(慶 大)		
58	34	後藤 啓三	(専 大)	上島 康秀	(日 大)		
59	35	松岡 典昭	(日体大)	小飼 清統	(法 大)		
60	36	前田 忠則	(中 大)	穂坂 久夫	(明 大)	長沢 伸二	(日体大)
61	37	前川 正則	(中 大)	酒井 学	(専 大)	青山 正伸	(法 大)
62	38	青山 正伸	(法 大)	蘇田 幹彦	(日 大)	園部 一彦	(明 大)
63	39	園部 一彦	(明 大)	矢野 弘和	(中 大)	長島 俊彦	(日 大)
平成1	40	長島 俊彦	(日 大)	満岡 博隆	(日体大)	百上 幸一郎	(日 大)
2	41	百上 幸一郎	(日 大)	清川 芳隆	(日体大)		
3	42	清川 芳隆	(日体大)	折茂 由紀	(日体大)	久保田 剛	(法 大)
4	43	前田 吉憲	(日 大)	山田 浩司	(日体大)		
5	44	山田 浩司	(日体大)	斉藤 実	(日体大)		
6	45	斉藤 実	(日体大)	山田 彰誠	(千商大)		
7	46	山田 彰誠	(千商大)	熊 淳志	(日体大)		
8	47	熊 淳志	(日体大)	前田 真利	(日体大)		
9	48	前田 真利	(日体大)	成田 剛	(中 大)		
10	49	成田 剛	(中 大)	門間 寛幸	(日体大)		
11	50	門間 寛幸	(日体大)	菊池 淳平	(中 大)		
12	51	門間 寛幸	(日体大)	菊池 淳平	(中 大)		
13	52	今泉 涉	(日体大)	小久保 英	(東海大)		
14	53	今泉 涉	(日体大)	小久保 英	(東海大)		
15	54	長原 正博	(中 大)	帰山 広規	(日体大)	岡本 一晃	(龍谷大)
16	55	帰山 広規	(日体大)	熊山 英治	(日 大)		
17	56	帰山 広規	(日体大)	岩田 潤	(名学大)	西川 弘憲	(大院大)
18	57	本多 裕樹	(日体大)	石戸谷美希	(東女体大)	市橋 尚之	(龍谷大)
19	58	石戸谷美希	(東女体大)	橋本 進	(東海大)	横野 智	(関西大)
20	59	橋本 進	(東海大)	川上 晃宏	(京産大)	六本木義弘	(日体大)
21	60	會澤 文吾	(東海大)	谷山 壘	(大院大)	小松 俊介	(早 大)
22	61	白鳥 卓	(明 大)	伊藤 吉彦	(京産大)	松井 夏希	(日 大)
23	62	大田 春菜	(東女体大)	梅村 良平	(日体大)	児玉 翔	(龍谷大)
24	63	原島 紗香	(日 大)	佐久間 瞳	(日女体大)	児玉 翔	(龍谷大)
25	64	山岸 紗千	(帝京大)	村岡 優	(東女体大)	河野 豊	(関西大)
26	65	山口 颯	(日体大)	西 正記	(東海大)	松井 健悟	(近畿大)
27	66	山口 颯	(日体大)	天野 祐作	(神奈川大)	松井 健悟	(近畿大)
28	67	天野 祐作	(神奈川大)	石橋 太陽	(慶應大)	林 武志	(天理大)
29	68	清水 詩織	(法政大)	丸谷 千夏	(日女体大)	林 武志	(天理大)
30	69	荒井 元輝	(日体大)	渡部 なつき	(東日本国際大)	中山 和紀	(近畿大)

主 管 学 連 紹 介

○は出場選手

関東学生バドミントン連盟						
役 職	氏 名	所 属 大 学 名	学 年	X D	メ ッ セ ー ジ	
委 員 長	金子 大地	法 政 大 学	4		大会へ参加する選手の皆さんが最高のプレーを発揮できるよう、主管学連一同全力で運営に力を注ぎます。 また、3年ぶりに神奈川県横浜市の日本体育大学での開催となります。この第6回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会が思い出に残るよう祈念いたします。	
副 委 員 長	金子 瑠奈	東京女子体育大学	3			
副 委 員 長	園原 昇真	筑 波 大 学	3			
会 計	鴨下 希穂	日本体育大学	3			
常 任 委 員	山崎 慎也	日 本 大 学	4	○		
常 任 委 員	風間 瑠菜	東 海 大 学	4			
常 任 委 員	瀧田 祐希	成 蹊 大 学	4			
常 任 委 員	三澤 勇人	東 海 大 学	2			
常 任 委 員	高橋 慶	日 本 大 学	2			
常 任 委 員	井村 友哉	日本体育大学	2			
常 任 委 員	片桐 悠夏	早 稲 田 大 学	3			
常 任 委 員	五島あかり	日本体育大学	1			
常 任 委 員	高野 拓朗	日本体育大学	2			
常 任 委 員	日野 滋斗	日 本 大 学	1	○		
常 任 委 員	湊 彩華	東京女子体育大学	1			
顧 問	荒井 元輝	日本体育大学	4		全日本学生連盟委員長	
顧 問	日山 美佳	日本体育大学	3		全日本学生連盟会計	

会場案内図



日本体育大学

健志台キャンパス 米本記念体育館

〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1

TEL : 045-963-7900
FAX : 045-963-7903

① 東急田園都市線「青葉台駅」下車
 東急バス 61系統 日体大行き 終点下車

② 小田急線「柿生駅」下車
 小田急バス こどもの国・町田バスターミナル行き
 日体大下車



あと1ミリ遠くに、この手が届いていたら。

あとコンマ数秒、レシーブをホールドしていたら。

あと一瞬、ステップを素早く切り返していたら。

プレーヤーの感覚とシンクロする

緻密なジャパンテクノロジーが、

そのイメージをパワーに変える。

準備は、いいか？ さあ、行こう。

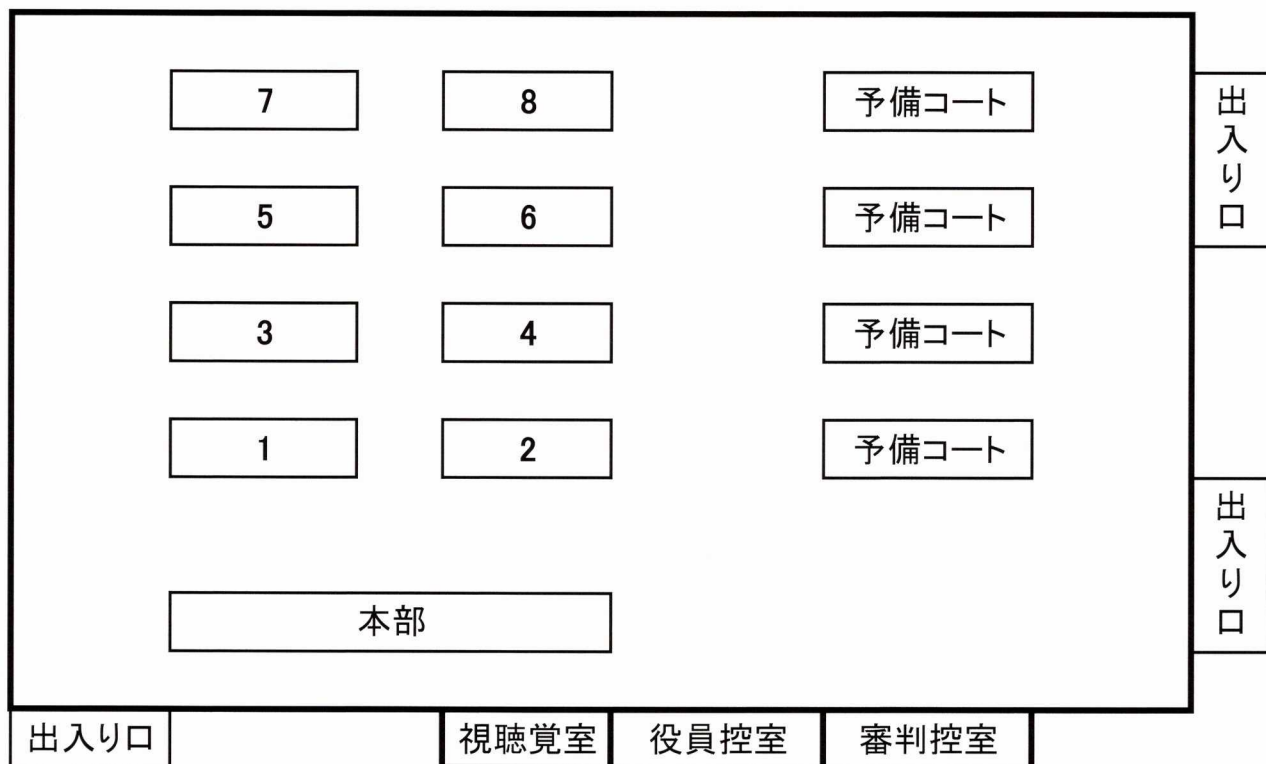
Go get 'em!

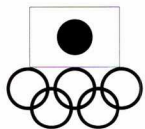
熱くなれ。



MIZUNO BADMINTON

体育館見取図





JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE
公益財団法人 日本オリンピック委員会





限界を超え、その先へ
世界最軽量
9U 参上

フルゲームフルカウント・・・
ラリー攻防戦を制するのは・・・
スタミナ負けしない超軽量ラケット
その軽さとしなりを体感せよ

POWER SHOT NANO 9U

薫風スポーツ株式会社

www.kumpoo-sports.co.jp/

〒273-0035

千葉県船橋市本中山7-8-15

TEL : 047-383-9311

FAX : 047-383-9312

POWER SHOT NANO 9U

KR-9U パワーショットナノ9U

¥25,000 (本体 ¥23,149)

日本バドミントン協会検定合格品

素材：フレーム部：カーボンナノチューブ含有ハイモジュラスカーボングラファイト
グリップ部：ハイモジュラスカーボングラファイト

カラー：ブラック

全長：675mm

重量・グリップサイズ：9UG6(57±2g)

適正ボンド数：17～23ボンド

打球感：柔 | | | | | ★ | | | | | 硬

対応ハトメ：KR-000

機能：(N) SLW NANO

New

Badminton

MAGAZINE

バドミントン・マガジン

競技者必携、国内唯一の専門誌

毎月22日発売／B5判



定期割のご案内

定期購読の新サービスとして、「定期割」を始めました!!
断然お得なサービスです。

通常
1冊あたり
890円の
ところ……

購読期間(冊数)	1冊あたり	通常購読料	「定期割」購読料(税・送料込)
3年割(36冊)	623円	32,040円	→ 22,428円 30%オフ (9,612円お得!)
2年割(24冊)	712円	21,360円	→ 17,088円 20%オフ (4,272円お得!)
1年割(12冊)	801円	10,680円	→ 9,612円 10%オフ (1,068円お得!)

「お申し込み方法」
 ◎ベースボールマガジン社のホームページ「sportsclick」を検索
 →クレジットカード決済 <http://bbm-subscribe.com/>
 →郵便振替にてお支払い <http://bbm-subscribe.com/postal/>
 ◎電話 ☎0120-413-490(受付時間 9:30~17:00 / 土日祝・休み) →郵便振替にてお支払い

最大
30%
オフ

◎「定期割」に関するお問い合わせ先

(株)ベースボール・マガジン社 販売局 東京都中央区日本橋浜町2-61-9 TIE浜町ビル
☎0120-413-490(受付時間 9:30~17:00 / 土日祝・休み)

ベースボール・マガジン社のバドミントン関連書

身になる練習法
**バドミントン
年間強化ドリル**
仲尾修一 著／定価(本体1,500円+税)
基本ショット、シングルス、ダブルス、戦略練習……
元日本代表の伝統校監督が個人も団体も強くなる
練習法を公開! 選手のタイプ別の練習法も紹介!

身になる練習法
**バドミントン
上達システム**
高瀬秀雄 著／定価(本体1,500円+税)
全国大会出場常連校の監督が、うまくするためのシステ
ムを大公開!! 中学・高校から競技を始めても、ブランク
があっても大丈夫! ビギナーから上級者までうまくなる!



BASEBALL MAGAZINE SHA
ベースボール・マガジン社

<http://www.sportsclick.jp/bookcart/>

受注センター ☎0120-911-410(月~金10:00~12:00、13:00~16:00※除・祝祭日)

<http://www.bbm-japan.com> 専門誌ならではの珠玉の記事・コラムを随時更新中!



Men's Doubles

World No. 1*

*2018年3月22日時点

 マルクス・F・ギデオ

 ケビン・S・スカムルヨ

ダブルスの理想形。DOMINATEで圧倒し、SKILLで決める。

ASTROX 88

NEW | アストロクス88S/88D ¥25,000+税 日本製 www.yonex.co.jp  YONEXBadmintonJapan  yonex_jp